

第18回 へき地・地域医療学会 地域医療の未来をひらく ～みんなが総合診療フロンティアデザイナー～

2025年6月28日(土)・29日(日)
海運ビルとオンラインのハイブリッド開催

第18回へき地・地域医療学会(公益社団法人地域医療振興協会主催)が、2025年6月28～29日、海運ビル(東京都千代田区)とオンラインのハイブリッドで開催された。

今回の大会長は女性で初めて白石裕子先生(自治医科大学 地域医療学センター総合診療部門・地域医療人材育成部門 助教)が務め、テーマに「地域医療の未来をひらく ～みんなが総合診療フロンティアデザイナー～」を掲げた。中国・四国の自治医科大学卒業生が実行委員を務め、それぞれ担当したセッションでは、未来を見据えた多様なテーマが取り上げられた。展示ブースでは11題のポスター発表があった。

1日目の終了後、その日の午前中に開催された総会において決定した新理事長・新理事の紹介が、吉新通康新会長からあり、藤来靖士新理事長が登壇して今後の抱負を語った。

続いて、2025年度へき地医療功労者表彰、高久賞授賞式が行われた。

今号の特集では、各セッションの内容を紹介する。



新理事長挨拶



2025年度へき地医療功労者表彰



へき地医療功労者集合